

# 糖尿病治療の新しい選択

1

文  
長也寸志

text by Yasushi Cho

はじめまして。医療法人社団 友志会（翼ハロー歯科・内科診療所／マイセルクリニック東京）理事長の長也寸志と申します。さまざまなご縁をいただき、本誌に寄稿をさせていただくことになりました。第1回は、暦の上では秋を迎えたものの、猛烈な残暑に襲われている熊本からお届けします。

さて、突然ですがご存知ですか？厚生労働省の平成28年「国民健康・栄養調査」によると、糖尿病有病者と糖尿病予備群は、いずれも約1000万人と推計され、今後も高齢化に従って増加すると考えられています。

糖尿病はひとたび発症すると治療することはなく、多くの合併症を引き起こす恐ろしい病気です。また、脳卒中や虚血性心疾患などの心血管疾患の発症・進展を促進することも知られています。高度に医療が発達した現代。ところが一方で、糖尿病、心臓病、脳卒中、高血圧といった生活習慣病は増え続け、

難病も数多く存在します。これらの病気は完全に治すのが難しく、これまでは、薬で症状を抑えたり、和らげたりするだけの「対症治療」が中心でした。

しかし近年、遂に画期的な治療方法が登場し、世界中で新たな成果が日々取り上げられています。それが「幹細胞再生医療」です。幹細胞再生医療は今、医療業界においてもっとも注目されている分野であり、急速に歩を進歩発展を続けているのです。

実は、当院は「糖尿病再生医療研究所」という別名を持ち、厚生労働省の正式な手続きに基づいて、幹細胞による糖尿病の再生治療を行っている医療機関です。幹細胞再生医療が、辛い病気に苦しむ方々の希望の光となり、健やかな健康長寿生活のお役に立てることを願ってやみません。

冒頭にもございますが、私の本業は歯科医師です。今回は、そんな私があ

せ糖尿病治療を目的とした「第二種再生医療等提供計画番号」を取得するに至ったか：について書いてみようかなと思います。

ちょっと変わった歯医者の方山話、お付き合いいただけましたら幸いです。

## Profile

医療法人社団 友志会 理事長  
1987年3月 福岡歯科大学 卒業  
1987年4月 福岡歯科大学病院保存科 入局  
1989年6月 長齒科医院 開設  
1994年8月 新地ハロー一歯科診療所 開設  
2007年8月 翼ハロー一歯科・内科診療所 開設  
1996年 医療法人社団友志会 設立

